

## 兵庫県豊岡市祥雲寺の(コウノトリの郷公園とその付近)の水生昆虫

牧田 習<sup>1)</sup>・中安 慎太郎<sup>2)</sup>

### はじめに

兵庫県豊岡市の祥雲寺地区において水生昆虫の調査を実施したので報告する。

### 調査日と調査方法

調査地は、豊岡市祥雲寺地区のコウノトリの郷公園の敷地内およびその周辺の休耕田、池、湿地、川である(図1)。

調査は、2010年5月3日と8月29日の日中に実施した。調査方法は網で池の堆積物をすくい、そこからソーティングするという方法を用いた。

### 調査結果

半翅目はマツモムシ科が1種、タイコウチ科が1種、コオイムシ科2種、鞘翅目はコガシラミズムシ科が2種、コツブゲンゴロウ科が1種、ゲンゴロウ科が11種、ガムシ科が8種、ヒメドロムシ科が1種、合計26種の水生昆虫が確認された。

2回の調査で最も個体数が多かったのはヒメガムシ(5月は約50個体、8月は約1000個体)であった。その次に多かったのは、5月はコツブゲンゴロウ(約100個体)、8月はコシマゲンゴロウ(約100個体)であった。5月には小型の水生昆虫が多く見られ、8月には中型～大型の水生昆虫が多く見られた。オオコオイムシ、コオイムシ共に得られたが、コオイムシは休耕田、オオコオイムシは湿地に見られ、一緒に見られることはなかった。



図1 調査地の風景。

そのほか、いくつかの注目種(環境省、兵庫県レッドデータブック記載種など)が得られたので、それらについても報告する。八木(2000)によるとシャープゲンゴロウモドキは兵庫県未記録種だが、今後発見のある種類として挙げられている。その可能性の高い場所としてコウノトリの郷公園が挙げられているが、今回の調査では確認されなかった。

### 採集された昆虫のリスト

種名末尾の括弧内に、兵庫県版レッドデータブック(兵庫県, 2003)および環境省レッドリスト(環境省, 2006)のランクを示した。NTは準絶滅危惧、VUは絶滅危惧II類。

#### 半翅目 Hemiptera

マツモムシ科 Notonectidae

マツモムシ *Notonecta trigguttata*

1ex., 休耕田, 3.V. 2010, 牧田習採集

タイコウチ科 Nepidae

タイコウチ *laccofrephes japonensis*

4exs., 池, 29.VIII. 2010, 牧田習採集



図2 左:コオイムシ, 右:オオコオイムシ。

<sup>1)</sup> Shū MAKITA ユース昆虫研究室; <sup>2)</sup> Shintarō NAKAYASU ユース昆虫研究室

コオイムシ科 Belostomatidae

コオイムシ *Appasus japonicus* (図2) (兵庫県要調査, 環境省 NT)

1ex. 休耕田, 3. V. 2010, 牧田習採集

体長は 17 ~ 20mm で 31 都道府県のレッドデータブックにも記載されている種類である。また本調査地ではオオコオイムシが多く、本種はあまり多くはなかった。

オオコオイムシ *Diplonychus major* (図2)

7exs., 湿地, 3. V. 2010, 中安慎太郎採集

1ex., 湿地, 3. V. 2010, 牧田習採集

鞘翅目 Coleoptera

コガシラミズムシ科 Haliplidae

ヒメコガシラミズムシ *Haliplus ovalis*

5exs., 池, 3. V. 2010, 牧田習採集

マダラコガシラミズムシ *Haliplus sharpi* (兵庫県要調査, 環境省 NT)

1ex., 休耕田, 3. V. 2010, 牧田習採集

体長は 3.5mm 程でコガシラミズムシ科の中では最も美しい種類である。本調査地では 1 個体のみ得られた。

コツブゲンゴロウ科 Noteridae

コツブゲンゴロウ *Noterus japonicus*

100exs.(程度), 池, 3. V. 2010, 牧田習採集

ゲンゴロウ科 Dytiscidae

コシマゲンゴロウ *Hydaticus grammicus*

14exs., 池, 3. V. 2010, 中安慎太郎採集

10exs., 池, 3. V. 2010, 牧田習採集

100exs.(程度), 湿地, 29. VIII. 2010, 牧田習採集

シマゲンゴロウ *Hydaticus bowringii* (図3)

1ex., 池, 3. V. 2010, 中安慎太郎採集

2exs., 池, 3. V. 2010, 牧田習採集

1ex., 29. VIII. 2010, 牧田習採集

クロゲンゴロウ *Cybister brevis*

2exs., 池, 3. V. 2010, 中安慎太郎採集

6exs., 湿地, 29. VIII. 2010, 牧田習採集

マルガタゲンゴロウ *Graphoderus adamsii* (図4)

(兵庫県要調査, 環境省 NT)

10exs., 池, 3. V. 2010, 中安慎太郎採集

4exs., 池, 3. V. 2010, 牧田習採集

30exs.(程度), 湿地, 29. VIII. 2010, 牧田習採集



図3 シマゲンゴロウ.



図4 マルガタゲンゴロウ.



図5 キベリクロヒメゲンゴロウ.



図6 マルケシゲンゴロウ.

体長 12 ~ 14.5mm でゲンゴロウのなかでは中型種である。本調査地では、5月に 10 個体程度が見られたただけだったが、8月には 100 個体近く見られた。また 8月には湿地の上空を飛翔する個体も確認された。よってこの地域の優占種と言える。

キベリクロヒメゲンゴロウ (スナムグリゲンゴロウ)  
*Ilybius apicalis* (図 5)

18exs., 池付近の流れのある溝, 3. V. 2010, 中安慎太郎採集  
14exs., 池付近の流れのある, 3. V. 2010, 牧田習採集

体長 8 ~ 10mm で普通はヨシなどが生えている大きな池沼に生息しているが、本調査地では少し流れの速い溝から多数の個体を得られた。池からも得られたが少数であった。

マルケシゲンゴロウ *Hydrovatus subtilis* (図 6)

7exs., 池, 3. V. 2010, 中安慎太郎採集  
4exs., 池, 3. V. 2010, 牧田習採集

体長 2.4 ~ 2.7mm で微細種である。産地は局所的で個体数も多くないが、本調査地ではかなり多くの個体が見られた。また 5月には多数見られたが、8月には全く見られなかった。

コマルケシゲンゴロウ *Hydrovatus acuminatus*

7exs., 池, 3. V. 2010, 中安慎太郎採集  
4exs., 池, 3. V. 2010, 牧田習採集

体長は 2.0 ~ 2.5mm で卵形である。マルケシゲンゴロウに比べるとやや多く見られる。本調査地での個体数の比率は同じくらいであった。また灯火にも飛来することがある。

クロズマメゲンゴロウ *Agabus conspicuus*

(標本紛失), 池, 3. V. 2010, 牧田習採集

オオヒメゲンゴロウ *Rhantus erraticus*

2exs., 池, 3. V. 2010, 中安慎太郎採集  
4exs., 池, 3. V. 2010, 牧田習採集

ヒメゲンゴロウ *Rhantus suturalis*

7exs. 3. V. 2010, 中安慎太郎採集

チビゲンゴロウ *Hydroglyphus japonicus*

1ex., 池, 3. V. 2010, 牧田習採集

ガムシ科 Hydrophilidae

ガムシ *Hydrophilus acuminatus*

1ex., 池, 3. V. 2010, 牧田習採集  
3exs., 湿地, 29. VIII. 2010, 牧田習採集

セマルガムシ *Coelostoma stultum*

1ex., 池, 3. V. 2010, 牧田習採集

ミユキシジミガムシ *Laccobius inpinus*

3exs., 池, 3. V. 2010, 牧田習採集

キイロヒラタガムシ *Enochrus simulans*

2exs., 池, 3.V.2010, 牧田習採集

キベリヒラタガムシ *Enochrus japonicus*

1ex., 池, 3. V. 2010, 牧田習採集

ヒメガムシ *Sternolophus inconspicuus*

6exs., 池, 3. V. 2010, 牧田習採集  
1000exs. (程度), 湿地, 29. VIII. 2010

コガムシ *Hydrochara affinis*

1ex., 池, 3. V. 2010, 牧田習採集

ヤマトゴマフガムシ *Berosus elongatulus*

3exs., 池, 3. V. 2010, 牧田習採集

ヒメドロムシ科 Elmidae

イブシアシナガドロムシ *Stenelmis nipponica*

1ex., 川, 3. V. 2010, 中安慎太郎採集  
1ex., 川, 3. V. 2010, 牧田習採集

謝辞

森 正人氏にはガムシ科の同定をして頂き、藤原淳一氏にはイブシアシナガドロムシの同定をして頂いた。厚くお礼申し上げる。岸本伸生氏には 8月 29日の調査時、車での同行をして頂き、感謝申し上げます。また発表にあたり、アドバイスしていただいた人と自然の博物館の八木主任研究員にお礼申し上げます。

参考文献

- 環境省, 2006. 改訂版レッドリスト. [http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb\\_top.html](http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_top.html)  
兵庫県, 2003. 改訂・兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック 2003. <http://www.pref.hyogo.jp/JPN/apr/hyogoshizen/reddata2003>  
森 正人・北山 昭, 2007. 改訂版図説日本のゲンゴロウ. 文一総合出版  
八木 剛, 2000. めざせ 50 種! 兵庫のゲンゴロウ. きべりはむし, 28(2): 39-41.